5月診療分も9割の医療機関で外来患者減
受診控えで症状悪化も

新型コロナ感染拡大の影響に関するアンケート結果

佐賀県保険医協会では7月初旬に、会員医療機関（医科394件、歯科265件）を対象に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する緊急アンケートを実施しました。アンケートには医科・歯科合わせて140件の回答が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

5月診療分について、9割近くの医療機関（医科・歯科）で前年同月比の外来受診患者が減少となっており、4月以前から回復できていません。特に小児科は患者減が著しく30％～50％減が75％、50％以上減も13％に及んでいます。

受診控えによる症状悪化

アンケート回答には患者の受診控えによる症状悪化を懸念する声も寄せられています。「糖尿病患者のHbA1cが6・5→9・4％へ上昇」「乳児検診を受けずに異常発見が遅れた」「施設から歯科訪問診療の中止を告げられた」などです。

使い勝手の良い助成金を

雇用調整助成金、持続化給付金などの国の助成金制度については、「使わない」との回答が50％以上を占めています。「申請の手続きは時間がかかる」「売上50％減ではなく20％～30％減も対象にしてほしい」などと、手続きの煩雑さや受給要件の厳しさなど、使い勝手の悪さを指摘する声が寄せられています。

2面に助成金等、6面には税制措置の概要を掲載していますので、ご参照ください。

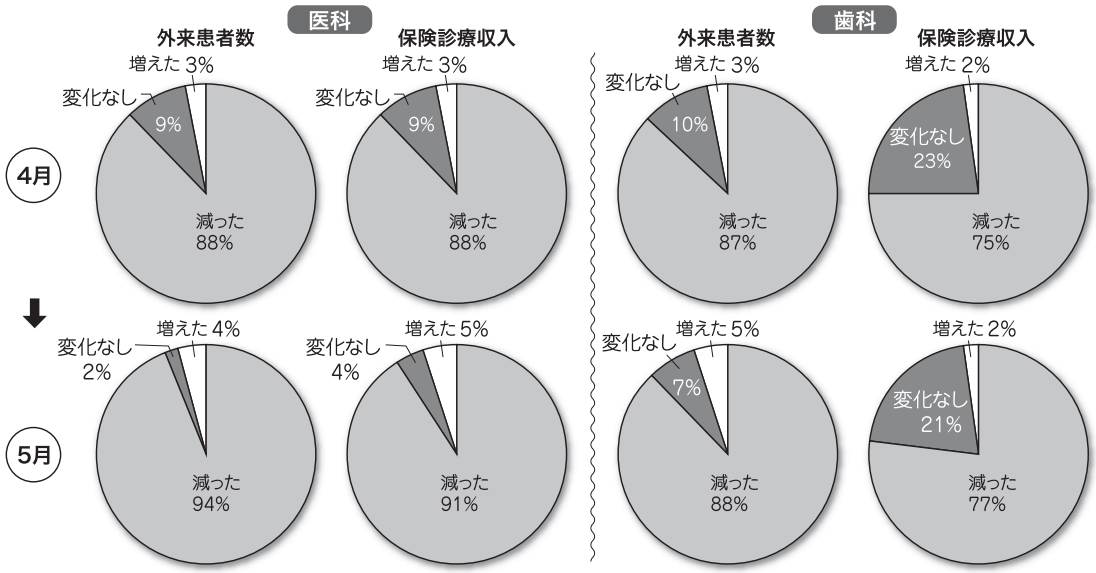
「インフルエンザ流行の冬季に対応できるか心配」、「減収に補助金を」、「閉院を検討中」など、寄せられたこれらの声を受け止めて、当協会では日常診療の維持、改善に向けた取り組みを進めていきます。（事務局）

■紙面記事のお詫びと訂正

佐賀県保険医新聞6月号1面「新型コロナウイルスによる影響調査」の記載内容に、以下の誤植がありました。お詫びして訂正いたします。（事務局）

【訂正箇所】
本文1段目　右側から6行目、円グラフ下の米印1行目

誤	正
2～4月	4月



※医科・歯科ともに今年の4月・5月と、前年同時期を比較しています。

役員選挙公示

佐賀県保険医協会会則および役員選挙規定に基づき、下記の通り役員選挙を行います。下記の要領で、会員は自ら立候補または他の会員を推薦できます。

① 役職名、定数：理事30名、監事2名
② 選挙日時、会場：8月22日（土）16：00～、ホテルマリターレ創世（佐賀市）
③ 立候補資格：候補者および推薦人は、選挙日現在で1年以上の会員資格を有していること。また同一医療機関で勤務する候補者は各区分2名までとする。
④ 立候補・推薦の届出方法：８月21日17時必着で立候補届・推薦届を事務局に提出すること。また被推薦人の承諾書も同日までに提出すること。
⑤ ④に係る届出用紙は協会事務局より受け取ること。

第39回 定期総会のご案内

総 会

■2019年度活動報告と2020年度活動方針
■2019年度決算と2020年度予算　他

日 時　8月22日(土)　16:00～17:00

場 所　ホテルマリターレ創世
佐賀市神野東2-5-15　☎0952-33-5511

※新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、今回は「市民公開講演会」「懇親会」は行いません。ご了承ください。

佐賀県保険医新聞

発行所
佐賀県保険医協会
佐賀市駅前中央1-9-45
(大樹生命佐賀駅前ビル4F)
電話　0952(29)1933
FAX　0952(23)5218
HP http://saga-doc.jp
hoken-i@star.saganet.ne.jp
購読料　1部　200円
送料込　年間2,400円
(会員の購読料は会費に含まれています)

協会会員数

医科	661人
歯科	332人
合計	993人

（5月31日現在）

主な記事

・医療機関が活用できる助成・支援制度……2面
・7月豪雨で被害甚大　救援募金ご協力のお願い……3面
・医療機関はレジ袋有料義務化の対象外……3面
・経営税務「コロナ禍による緊急税制措置」……6面
・法律相談「診療に関する債権の消滅時効が変わりました」……6面

曙

新型コロナのパンデミックからはや数カ月が過ぎた。緊急事態宣言以後、出自粛が要請され、さまざまな施設が休業、閉鎖。GWもにぎわいを失い、巣ごもりの状態を強いられた。現在は規制も緩和され、以前の日常に戻りつつある。自粛ムードのこんな時どう過ごすか考え、今まで公開されたパンデミック映画を振り返った▼大学時代の「マイケル・クライトンのアンドロメダ病原体」という小説・映画が話題となった。これは宇宙から正体不明の地球外生命体が地球に落下し、ある村が2人を除いて全滅、その謎は…という映画で、宇宙からきた病原体というSF的な内容で、当時は荒唐無稽な物語と思った▼2008年公開の「感染列島」という映画では東南アジアからウイルスが広まる。まさに本国中に感染が伝染し、日現在と同じ感染者の増大、地域封鎖、戦場のような病院、効果的な治療法もなく、次々に死亡する患者たち。その後新型インフルエンザ流行があり、新型コロナ状態を予言するようなリアルな内容だ▼2011年公開の「コンテイジョン」（接触感染）では10年後の新型コロナパンデミックを予見するような内容で、エレドアノブ、水飲み器、エレベーター、水飲みの手が媒介物。人間は一日に2千～3千回顔を触る、など。今、言われているようなことが既に述べられている▼1995年公開の「アウトブレイク」はエボラ出血熱感染を描いた作品で、軍が関係しているというのです。ちなみにパンデミックとは世界規模で、同時期に感染流行するもの。アウトブレイクは一定期間内に特定地域、集団の中での予想を超えるだ規模の発生をいうそうだ▼どの作品もエンターテインメント、スリラー、ホラー、SFとも受け取れるが、今の時期、感染まん延に対する傾向と対策を考える上での警告として参考になると思う。（ドクターノウ）